

令和八年度 山梨大学教育学部学校教育課程 幼児教育コース  
推薦入試入学者選抜試験問題

(表紙)

## 小論文

### 注意事項

- 試験開始の合図があったら、すぐに用紙の種類と枚数を確認し、受験番号記入欄の全てに受験番号を記入して下さい。

表紙	……	1枚
問題用紙	……	1枚
答案用紙	……	1枚
- 試験終了後、全ての用紙を回収します。
- 用紙が不足していたときや、印刷が不鮮明な場合には手を挙げて監督者に知らせて下さい。

この用紙(表紙)の裏面を「下書き用紙」として使用してかまいません。  
下書きは採点には含めません。

受験番号

小論文

以下は、ある五歳児（「まさこさん」）に関する文章です。この文章を読んで、あとの【問1】  
【問2】に答えなさい。

園で飼育しているウサギにエサを与えるために、週明けには、子どもたちが野菜くずや登園中に拾った草を持ってくるようになっていた。まさこさんは、ビニール袋いっぱい、シロツメクサを持ってきていた。一人でウサギ小屋の前に座り込み、金網ごしに、一本一本、「おいしい？」などと声をかけながら与えている。それほど長い時間ではなかったのだが、一人で、じつとすわりこんでいるので、近づいて行つた。おそらく、私の中には、早くエサやりを済ませて、自分のクラスへ行くべきだという気持ちがあったのだと思う。  
つい、(1) 余計なことを言ってしまったのである。

「そんなに、シロツメクサをあげると、おなかを、こわすかもしれないよ」とすると、彼女の手は止まって、こちらを見た。

「えんちようせんせい、きのう、ゆうごはんたべた？」（たべたよ）

「けさ、あさごはん、たべてきた？」（たべてきたよ）

「あのね、どうぶびから、○○ちゃん(ウサギの名前)は、なにもたべてないんだよ」

その次のことばが、とてもきつかった。

「えんちようせんせいなのに、そんなことも、わからないの？」

私は、(2) 返すことばを失ってしまった。

子どもたちは、自分なりに行動しながら、さまざまな気持ちをいだいている。考え方についても、自分なりの理由をもち、いつも自由に表現している。

それに比べて、大人である私は、常識的な、つまらない発想で、何か注意を与えねばならぬと勘違いをしていたのであった。子どもたちには、毎日、思いっきり遊びながら、自由に時間をすごしてほしい。

（出典…近藤幹生『保育の自由』岩波新書 二〇一八年）

【問1】 傍線部(1)で、筆者が述べている「余計なこと」とは、具体的にはどの部分ですか。本文から抜き書きしなさい。

【問2】 傍線部(2)のようになってしまった理由は何だと思えますか。あなたの考えで補いながら、六〇〇字以上八〇〇字以内で説明しなさい。

受験番号

